

池田高校 SSH 卒業生アンケート

高校16期生 Bさん

(聞き手 国語科 迫)

1 まず、あなたは今どのようなお仕事をされていますか。仕事の場合は、よろしければお立場もお教えください。

看護師

2 高校時代はどのような研究をされましたか。

化学反応と染料についての研究をしていた。

3 研究活動の上で、最も印象深かったことは何ですか。

内容までは20年前なのであまり覚えていないのですが、蟻の研究班の活動範囲の広さは印象に残っている。

4 そこで学んだことはどういうことだと考えますか。

SSHの研究活動を通して、小さな疑問からひとつのことをつきつめることの楽しさを学んだ。

5 SSHの学びにより、科学的な感性や好奇心、思考力は伸びたと思われませんか。

理系科目が苦手な科学全般苦手でした。伸びたかどうかと言われると疑問が残るが、理系科目に対する苦手意識はSSHの活動を通して薄れていったと思う。

6 プレゼンテーションやわかりやすく話す力や表現力は付いたと思いますか。

プレゼンテーションに関して自分が発表するという経験をしただけでなく、他の研究班や他校の発表をたくさん見る経験をすることができた。それらの経験を通して、伝えることの難しさやどうすればわかりやすく伝えられるかと考える機会を多く得ることができた。

7 高校時代が普通の教科学習だけで終わったとしたら、どう違ったと思いますか。

高校生の当時は、通常の教科に加えてSSHの課題研究をしなくてはいけないという気持ちが強かった。教科の学習とSSHを両立させるために、通常の教科をそれまで以上に努力して成績を維持しないといけないという不安も感じていた。そういった気持ちを感じながらも、とにかく必死に両立できるよう努力していたと思う。その経験が生きてきたのは看護師国家試験に向けての勉強の時でした。同じように不安を抱えながらも目の前のやるべきことを乗り越えられたのは高校時代に一度同様の経験していたからだと思います。高校でSSHをしていてよかったと思う。

8 SSHの学びは、あなたの理系選択に影響しましたか。また、研究したことで学習意欲は高くなつたと思いますか。

もともと理系を希望していた。SSHで学んだから理系を選択したわけではないが、SSHの活動を通して苦手意識が減っていたことが、自信に繋がり理系を選択する後押しとなった。

9 現在どのような生活を送っていますか。研究(仕事)はどんな様子ですか。

今の自分に役立っているところはどんなところと考えますか。

病院に勤務しているとき、1人の患者さんに対してのケースレポートをするときに役立ったと思う。

10 今後の池田高校のSSHについてどう考えますか。

期待することなどを教えてほしい。

私のように文系を得意としていても、SSHの活動は、少なからず進路選択の判断材料になると思う。

また、身の回りの小さなことがらに対して、じっくりと向き合える時間というのは高校卒業後ではなかなか得られない。同級生と同じ目標に向かって何かを作り上げる時間も大切にしてほしいと思う。